



## 原油価格上昇が日本の貿易収支に及ぼす影響

- ・月次の通関収支をみると、徐々に原油価格の上昇が影響を及ぼしていることがわかる。直近月では、年率にして約2兆円ほど通関収支の下押し要因となっている。ただし、輸出数量増加要因の黒字幅拡大要因が大きくなっており、2度の石油危機ほどの影響はない。
- ・原油価格上昇の影響が比較的軽微にとどまっているのは、日本の輸入総額に占める原油輸入比率が趨勢的に低下してきていること、原油価格上昇が円高に吸収されドル建ベースほどに円建の原油価格が上昇していないことが挙げられる。
- ・日本経済に与える影響としては、原油価格上昇そのものよりもむしろ、原油価格上昇により米国、中国の景気が減速し、日本の輸出を減少させることが懸念される。

図1 通関収支前年差の要因分解

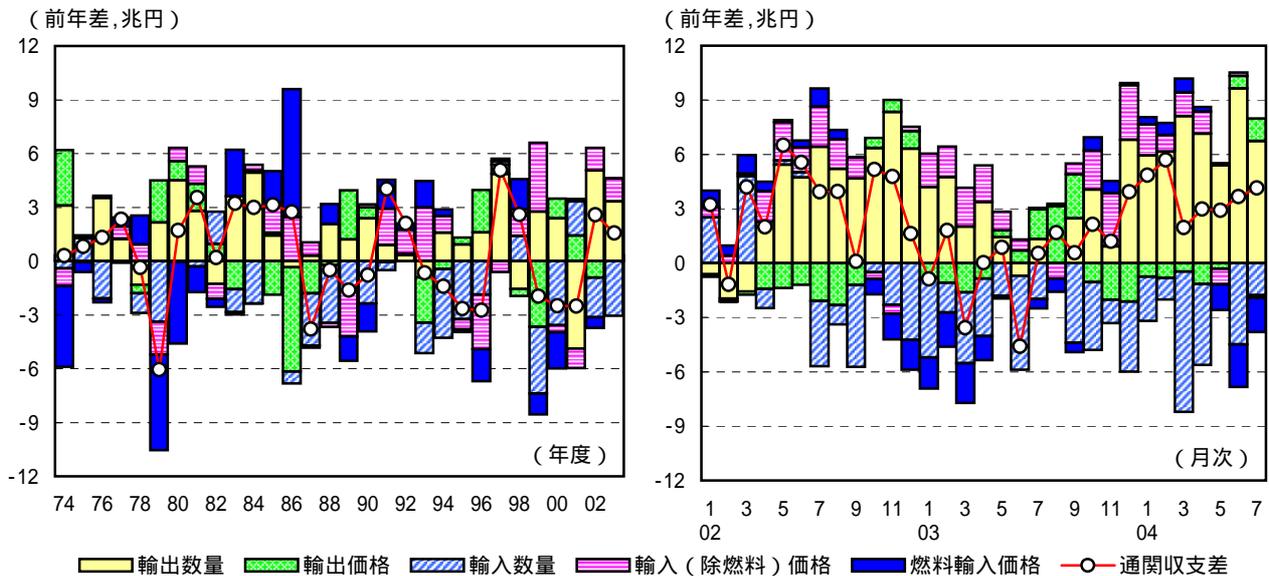
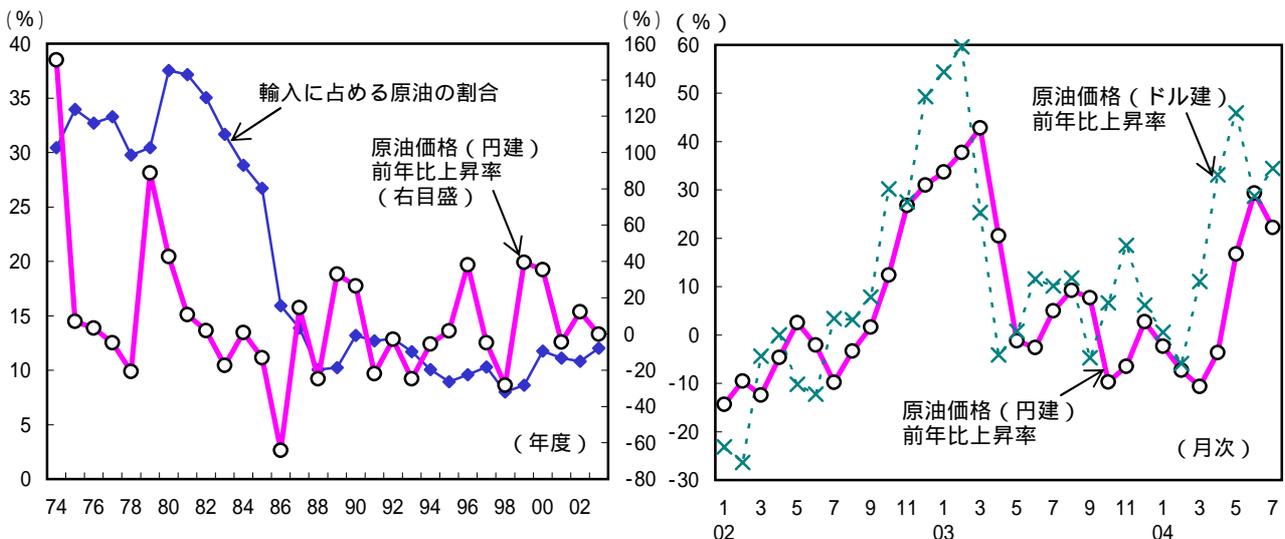


図2 輸入額に占める原油の割合及び原油価格の推移



(備考) 財務省「通関統計」他により作成。

[調査部(経済調査担当) 加賀林 陽介]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp